

地域で見守る

「おかえりSOSネットワークまつさか」

「おかえりSOSネットワークまつさか」とは、認知症などで行方不明になる高齢者の早期発見・保護を目的に、メール受信を希望する事前登録者や協力機関などへ見守りメールを配信する仕組みで、松阪市・多気町・明和町・大台町の1市3町で導入しています。

このネットワークを円滑に運営し、情報交換及び課題を協議するため、行政・警察・消防・地域包括支援センター・介護サービス事業所などの関係機関がオンライン会議を開催しました。



おかえりSOSネットワークまつさか運営会議の様子

認知症高齢者等の事前登録と見守りメール配信の協力

令和3年8月末時点で、松阪市の認知症高齢者等の事前登録者数は累計486人(平成26年5月開始)、見守りメール配信の協力者数は1363人です。令和2年度には、見守りメールを行方不明時・発見時・続報などで45件配信しており、特殊詐欺等の消費者被害を防ぐための注意喚起メールを配信することもあります。また、事前登録をしていない方が行方不明になった時にも、警察が「おかえりSOSネットワーク

まつさか」について説明し、「ご家族の同意のもとで即座にメール配信を行い、早期保護につとめています。

「おかえりSOSネットワークまつさか」の有効活用をめざして

認知症などで高齢者が行方不明となる事例は現在も繰り返し発生しており、一刻も早く発見するため、見守りメールの配信とともに防災無線でも放送を行っています。これらを行うことで、地域の皆さんの協力による通報などがあり、早期発見・保護につながっています。

しかし、課題もあります。この仕組みがあまり知られていないことや、認知症かどうかわからないために家族が登録を躊躇してしまうことなどです。緊急時、早急に対応するためには事前に登録しておくことが重要です。

行方不明の高齢者を持つ家族の不安は計り知れません。数年先には65歳以上

上の5人に1人が認知症になる可能性があると言われています。認知症の方が行方不明となり、命を落としたという事例もあるので、他人事と思わず、このしくみをぜひご利用ください。

また、見守りメールの受信を希望する事前登録者は、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する理解を深めた皆さんで、行方不明者の特徴に似た方がいないか気を配りながら地域を歩いているという話も聞きます。これからも多くの方の協力により、行方不明になった方が、少しでも早く家に帰れるよう活用推進に努めていきます。

認知症高齢者等個人賠償責任保険

認知症または若年性認知症の人が他人に怪我を負わせたり、物を壊してしまったりした場合に備えた損害賠償保険制度です。保険料は市が全額負担するもので個人負担はありません。「おかえりSOSネットワーク」の登録と同時に加入のご案内をしています。関心のある方はぜひお問い合わせください。